

## メッセージ 2009

丹羽 令香

大学4年間・・・とても短かったです。しかしこの短い4年間とても充実して過ごすことができました。私は、3年時にゼミ合宿幹事を行ったことで、とても成長できました。このゼミ合宿で、先輩とも後輩とも仲良くなり、同学年だけの繋がりから他学年との繋がりに広がったことは、とても嬉しかったです。「おつかれさま。楽しかったよ。ありがとう」と言って頂いた時は、幹事をやって良かったと思いました。とても良い経験になりました。

もともと、企画をしたりすることが好きで、人に喜んでもらうことが好きなので、旅行会社に就職すると決めていました。そのために、ゼミ合宿の仕事と並行しながら、総合旅行業務取扱管理者の資格の勉強をしました。無事に合格し、就職活動を11月から始めました。就職活動はとても大変だし、挫折することもあるが、自分が一番成長できる場です。自分自身を分析し、自分が何をしたいのかを明確にすることで、就職活動は上手くいくと思います。自分がやりたいことだけでなく、自分に向いていることも一緒に探してください。それは、就職活動を成功させる1つだと思います。周りに流されず、悔いの残らないように頑張ってください。

藤井先生は、卒論の指導はとても親切にしてくれます。そして、お酒大好きです★お酒を飲みながら、お話すると面白いですよ。このゼミに所属し、とても楽しかったです。卒論も満足した作品になりました。皆さん、遊びも就職活動も卒論も一生懸命頑張ってください。

## 3年間のゼミを通して

高橋 寛

今、ゼミの3年間で振り返ると、もの凄く楽しく、早かったように感じます。事実、私の仲間は大学生活において、ゼミ以外でも共にしていたので、あっという間であったことも不思議ではありません。

このゼミを通して経験したことは、本当に自分自身の力になったと感じます。というか、感じたいです。藤井先生という人間と接することを難しく感じる人もいるでしょう。その環境で物事を進めるためには、考える必要があると思いますが、それを一つ考えることも無駄ではないのかなと感じます。普段の授業ではもちろんのこと、合宿や合同ゼミでも何かを得られたのではないのかなと。就職活動や卒論も同様に感じます。多くの物事に触れることは、多くの考え方も出てくるのではないのでしょうか。限られた時間ではありましたが、このゼミではそれなりの経験が出来たと思っています。後輩の皆さんも、ふっとした瞬間に頭を動かしてみることで、普段では味わえない感情を抱き、一回りも二回りも大きくなって下さい。

そして、卒業間際のこの時期になると、どうしても社会の意識を持たされますが、実際にその環境で過ごしているわけではないので、正直わかりません。卒業間際で学生最後という、この温い環境から、どれ程の規律正しい生活を送ることになるのか。むしろ、想像ではあり得ないほどの激動の毎日ではないのかなとも考えています。しかし、大学時代に経験したこと、感じたことも、“多少”は役立つのかなと思っています。というか、私は大学時代の経験を社会に出ても生かしたいから。だから、大学生活をどのように過ごすかで、大きな差が出ると思い、思いやりの心を持った上で、多くの仲間と時間を過ごして下さい。行動する際も目先のことだけでなく、その次その次といったいくつもの場面を想像することで、より様々な力を身に付けて行って下さい。周囲の人や物事を考えられる人は、きっと魅力ある人間になり、慕われるのではないかと思います。

## 大学生活

久永 祐馬

自分は趣味とか遊びとかに夢中で、学校も行かなかった日が多いです。その影響なのか就職活動も始めるのが3月後半で遅くて苦労しました。なんの準備もしてなかったため、エントリーシートと履歴書の書き方でまず苦労し、SPIや筆記試験の対策もしてなかったため面接でなんとかなっても、勉学のできなさにショックを受けたこともありました。自分はラッキーなことに数社受けただけで決まりましたが、次にもし就職活動があったらまったく自信がありません。

ですので、自分の経験を踏まえて一言言うと、SPIとかの勉強はしておいたほうが良いと思います。面接は対策もしたほうが良いと思いますが、なによりも話すことに慣れておいたほうが良いと思います。そして一番重要なことは、自分に合う企業を見つけるためにくじけずたくさん受けることだと思います。

卒業論文については、テーマ設定と最後の修正の部分ですごく大変で時間がかかるとは思いますが、早いうちから一生懸命やれば、必ず終わると思います。いろいろ、文句みたいなアドバイス言われると思いますが、間違いは言われないので、相談をしながら完成させることが大切だと思います。

遊ぶときは思いっきり遊んで、勉強するときは思いっきり勉強するなどメリハリをつけて行動することが一番必要なことだと思います。意味のある行動をすることが一番重要で今後のためになると思いますので、後悔しない大学生活を送ってください。 あっというまに終わってしまうのでがんばってください。

清水 卓

月日が流れるのは早いもので藤井ゼミに入ってからもう3年が経ちます。もう卒業です。藤井ゼミに入りたての頃は、前期は毎週毎週慣れないパソコンの課題を課せられ、藤井先生に毎回怒られながらもレポートを提出。後期の合同ゼミになると更に厳しく、グループメンバーの予定がなかなか合わない中、週に何回も会って練習を重ねて、失敗して、また調べての繰り返し。大変なゼミだなと感じていました。

それでも続けてこられたのはゼミの仲間がいたからだと感じています。

ゼミの仲間とはゼミ活動だけでなく、旅行や日常の遊びを通してたくさんの思い出を作りました。

最後まで藤井ゼミのメンバーで最後までやってこられて本当によかったなと思っています。

就職活動に関しては細かく言えばきりが無いのですが、とりあえず楽しんでやってほしいです。

就職活動は今まで自分が全く知らなかった世界を知る最高の機会です。いろいろな業種の仕事を見聞きすることでたくさんの発見をしたいと思いますし、それは実際にその仕事につかなくても他の会社を受ける際や将来の自分にとって絶対プラスになることだと思います。また、自己分析や面接を通してたっぷりと時間を使って真剣に自分と向き合うのもこの先この就職活動しかないのかなと思います。

今やっている事を就職のためだけにやるのではなく、楽しむ余裕を持ってやっていけば結果はついてくると思っています。人生に一度しかない就職活動を思いっきり楽しんでください！

そして終わった際にはたくさん遊んで思い出を作ってください！！

藤井ゼミの皆さんへ

松元 祐樹

こんにちは、藤井ゼミ 4 年の松元祐樹です。今回、後輩の皆さんに就職活動そして卒業論文に関してアドバイスを差し上げたいと思います。少しでも参考になれば幸いです。

まずは就職活動についてですが、この就職氷河期の中、とても苦労すると思います。自分たちの世代も大変苦労しました。しかし、一生懸命最後までやり抜いた分、みんな内定をいただくことができました。藤井ゼミにいる優秀な皆さんなので大丈夫だと思いますが、自分にあった企業を見つけ出してそこから内定をいただけるよう一所懸命最後までがんばってください。そのための企業選びですが、就職活動を終えて思ったのは、最初から業界を絞るのではなく興味が少しでもある企業を積極的にエントリーするのもアリだなということです。自分の内定先が最初に絞った業界ではなかったためです。興味のある企業についてとことん調べると、そこから自分が働くイメージが明確になるなど、必ず自分にあった企業が出てきます。その後に業界を徐々に絞っていくのも良いと感じました。重要なことは企業と自分を照らし合わせること、あとはとにかく動き回ることです。就職活動は自分との長い戦いです。最後まで走り抜いてください。

続いて、卒業論文についてですがこちらは自分自身自信がないまま終えてしまったので、アドバイスできる部分が少ないです(すいません)。でも、ちゃんと色々なところから資料を集め、自分なりに起承転結を作り完成させました。卒業論文も長い戦いで、自分の頑張り次第でどうにでもなります。早めにコツコツやり始め、こまめに先生に相談すると良いと思います。なかなかそううまくいかないのも現状ですが、大学入った証として卒業論文は是非作成しておきたいものだと思います。頑張りました。

アドバイスになったか不安ではありますが、優秀な皆さんの頑張りに大いに期待しております。

## 櫛谷 元治

藤井ゼミ 4 年の櫛谷元治です。アドバイスになるか分かりませんが、大学生活を振り返りたいと思いますので、参考になればと思います。

### ・ゼミ

2 年生から藤井ゼミに所属しました。ただ正直な話、その時は金融業界に就職したいと考えていたのでゼミを変えようと思いましたが、希望したゼミに落ちたので 3 年生も藤井ゼミを続けました。ただこのことが後の就職活動など、色々なことに良い影響を与えたと思っています。

### ・就職活動

就職活動はインターンを通し、3 年生の 6 月から始めていました。しかし学園祭実行委員会に所属していた為、本格的に始めたのは 11 月です。当初は金融業界を志望していましたが、就職活動を本格的に始めた 11 月には食品メーカーに就職したいと考えていました。食品メーカーは ES を通過しないと説明会にすら参加出来ないのも、ES には特に力を入れました。そこで私は藤井先生に ES を添削してもらうことにしました。また研究室では働くことや食品業界について先生が熱く語ってくれました。それを自分でまとめ、面接の際に上手く話せたことによって、希望していた食品メーカーに内定しました。

### ・卒業論文

卒業論文は最後の最後まで書き続けました。卒論は本当に大変です。卒論を書いている時に、卒論なんて書かなければ暇になるのに・・・と思いました。しかし、書き終わった今では書き終えた達成感と満足感で一杯です。もちろん藤井先生がいなかったら卒論を書き終えることは出来なかったと思います。藤井先生は卒論指導に熱血なので、藤井ゼミに入ったら卒論を書くことをお勧めします。

### ・最後に…

就職活動の OB・OG 訪問の際に、必ずと言われたのが、大学生活を終えると自分の時間がほとんどなくなり、やりたくても出来なくなるから今のうちにやっておきなさいという意見がほとんどでした。大学生活を謳歌し、

悔いのないよう頑張ってください。

## 河村 裕之

大学2年の時から始めた藤井ゼミも、遂に残り1回になりました。

これまで、ゼミ合宿やディベートなど様々なことがありましたが、投げ出さず最後までやりきることが出来たのは、共に学んだ友人達がいたからこそだと思います。藤井先生や友人達と共に学んだこの3年間は自分にとって非常に大きな財産になりました。

長いようで短かった大学生生活を終え、4月から社会に出ていくことになりましたが、今まで学んだことを活かして精一杯頑張りたいと思います。

これまでの学生生活を振り返ると、やはり就職活動が自分にとって一番苦労しましたし、印象に残っています。自分の長所や短所、学生生活で一番頑張ったことなど、今まであまり考えなかったことを一から振り返り、煮詰めていくという作業は苦労しましたし挫折の連続でした。しかし、その分いろいろな見えなかったものが見えたり、自分が少しですが成長できたように思います。

来年、就職活動を行う皆様も自分に正直に、そして精一杯に取り組んでください。そうすれば自然と結果もついてくると思います。苦労することも多いと思いますが、得られるものも多々あると思いますし、自分と向き合った分だけ人間として成長出来ると思います。

最後になりましたが、大学生活はほんとにあっという間です。学業もそうですが、就職活動や友人との想いで作りなど、1日1日を大切に充実した時間を過ごしてください。そして、一期一会という言葉を大切に、人と人との繋がりを大切に残りの学生生活を満喫してください。

## 木村 俊之

私は大学生活を中途半端に送ってしまったため学校にはあまり行かずに、ついに卒業が近づいてきてしまいました。私は3年、4年次に藤井ゼミに所属していたのですが、ゼミだけはまじめに出席したと思っています。それだけ勉強になると思えたからです。私はあまり真面目に勉強するタイプではないので参考にはならないかもしれませんが、学生生活を振り返ってみたいと思います。

### 卒業論文

卒論だけはしっかり完成させようと3年次から思っていたので、少しずつ進めていたのですが、やはり夏休みに入ると怠けてしまいました。その分、学校がある日にはパソコン自習室で少しずつ進めるようにしていたのですが、一人で進めているうちに方向性がぶれてしまうことが何度かありました。その時に藤井先生のアドバイスによって方向修正がされ、本当に助かりました。卒業論文は自分自身で書くものですが、わからないときや困ったときには先生のアドバイスを素直に聞いて、とにかくその通りにやってみるということも大切だと思います。とにかく量が多いので頑張ってください。

### 就職活動

私が就職活動を始めたのは、3年の12月頃から本格的に始めました。ですがその後、少し怠けてしまう時期があったので、その後4年になってからまた始めました。就職活動をしてみて思ったのは、「早い時期からどれだけ本気で動けたか」ということが重要になってくると思います。まだ時間はあると思っているとすぐに4年の夏になってしまい焦ることになるので、とにかく早い時期から精一杯動いてください。それと業界が絞れないという方も多いかと思いますが、自分の道を決めるのですから、企業を選ぶ軸くらいはしっかりと決めておいたほうが良いと思います。そして、その軸を大切にしてください。

## 後藤 綾子

藤井ゼミはとっても楽しかったです。思い返せば大学生活はゼミの思い出ばかりです。これぞ大学生という生活を藤井ゼミでかなり満喫しました。藤井先生はお酒好きだし、よく怒ったりしていたけど、本当は熱い気持ちを持っている面倒見のいい先生です。私は本当に藤井ゼミに入ってよかったと思います。2・3年生のみなさんも学生生活をぜひ楽しんでください。

### ・卒業論文

卒業論文は完成させた方がいいと先輩方や周りの人から聞き、私自身流れるままに卒業論文に取り組んだのですが、今思えば卒業論文を完成させたことは本当によかったと思います。もちろん卒業論文を完成させる過程は容易なものではありませんでした。辛くて本気でやめようと思ったこともあります。しかし、ゼミの人や藤井先生からの優しい言葉のおかげで乗り越えることが出来ました。卒業論文を成し遂げたという達成感は社会人になったら二度と味わえないと思うので、2・3年生のみなさんにも是非頑張ってもらいたいです。

### ・就職活動

とにかく最初から諦めない事、大きい声でハキハキ話す事、すぐ行動に移せる積極的な気持ちは大切だと思います。私は2回就職活動をしました。この3つが大切なことではないかと思っています。自己分析や企業研究ももちろん大切です。最初の頃は自己分析のやり方すらわからなかったし、就職活動の右も左もわからない状態でした。しかし無料の就職活動の講座や、学校で開かれる講座に積極的に参加することでだんだんわかってきます。

会社の説明会にも積極的に参加する事をおすすめします。説明会を参加しないと採用試験に進めない場合もあるので注意が必要です。また、面接はとにかく回数をこなす場慣れすることが1番だと思います。就職活動は大変ですが、自分と向き合えるいい機会なので頑張ってください。

## 3年間を振り返って

## 小林 達也

私は3年間藤井ゼミでお世話になり、とても多くのことを学びました。中でも一番印象に残っているのが、駿河大学とのディベートです。私たちの班は「外国人労働者を受け入れるべきか否か」というテーマをもとに否定側に立ちディベートを行いました。資料を集めたり、データを集めてグラフ化するのがなかなか大変でしたが、その経験を通して、筋道を立てて、論理的に物事を主張する方法や、説得力のあるグラフの作成の仕方など、とても多くのことを学び、身につけることができました。この経験で学んだことは、社会人になっても必ず役に立つと思います。

大学生活を振り返って、とても色々なことがありましたが、ゼミ合宿や合同コンパなど、やはりゼミでの思い出がとても色濃く心に残っています。皆と一つのことにより懸命になり、力を合わせて一つのことを成し遂げることで、とても強い信頼関係を築くことができました。ゼミでできた仲間は私にとって財産です。

ゼミというのは、社会人になっても通用するスキルを身につける場であるのはもちろんですが、何より、コミュニケーション能力を身につける場でもあると思います。後輩の皆さん、大学生活は本当にあっという間です。やるべきことはやり、後は思いっきり遊んでください。そして良き仲間を沢山作ってください。

最後に藤井先生、3年間本当にお世話になりました。社会人になってもゼミで学んだ経験を活かし、頑張っていきたいです。お体にお気をつけて。またいつか一緒にお酒を飲みましょう。それでは改めて、3年間、本当にありがとうございました。

## 就職活動を控えている後輩へ

数馬 瑠美

藤井ゼミ4年の数馬です。就職活動の時期を控えている後輩に、学生生活、就職活動をよりよい価値のあるものになってほしいという思いから、ここに記します。これから始める、はじまる就職活動というのは、皆さんにとっては初めての経験であり、ある意味これからの人生の方向性を決める重大な時期であると思います。自分でこれだと確信できるものが得られるまで悩み続け、「悩んで、悩んで、突きぬける精神」で、徹底的に学生生活、就職活動に臨んでほしいです。

そして、すべてにおいて言えることですが、真剣に取り組んだ分だけ必ず結果は報われます。私は、大学生活で言うならば、ゼミと就職活動を通じて、「ある“共通のこと”」を学び、この「ある“共通のこと”」とは、「費やした努力と時間は、裏切らない。」ということです。日々の小さな積み重ねが、三カ月、半年、一年…となると大きな力となり、成長へと繋がることをゼミ、就職活動、卒論から学びました。ゼミでは、藤井先生から「頭だけで考えるのではなく、足も使って考えろ」と教えて頂き、ゼミの仲間と共に全力で物事に取り組み、最後まで成し遂げることが大切であることを経験し、この経験を基に、就職活動でも、徹底的に自分と向き合い、あらゆる手段を使って企業研究をし、努力することで必ず自分の目と心に何かが見えてくると信じ、半年間、頑張ってきました。

しかし、努力している過程の中で、例えば就職活動中で言うならば、「面接で選ばれなかった」という事態に遭遇するかもしれません。でも、何もクヨクヨしたり恐れたりする必要はないのです。「面接で選ばれなかった」ということは、たまたま皆さんよりももっと上手くマッチングする人がいたというだけの話。乾いた土地で上手く育つ植物もあれば、水辺で上手く育つ植物もあるように、たまたま希望していた会社と皆さんがマッチングしていなかっただけの話です。私は、就職活動中、このように考え、どんな結果も受け入れ、努力に努力を重ね、内定を手にすることができました。

皆さんの価値を評価してくれる会社、皆さんと上手くマッチングする会社が必ずあるので、マッチングする会社に出会うまで、諦めず闘い続けてください。「諦めず、闘い続けること」に意味があり、諦めるか、諦めず闘い続けるかは、「周りの人間」ではなく、「自分」であり、自分次第です。

中国語の故事成語に「機不可失。時不再来——機失うべからず、時再び来らず。」という言葉があります。今の瞬間に何をし、何をすることが未来を決定するといっても過言ではないと思います。このことをよく理解して、何をすべきか考えるだけでなく、行動することも重要であり、私は、「常に挑戦する姿勢を忘れず、地道に努力すること」を大切にしていきたいと思っています。